

7. 上位関連計画の整理

都市計画マスタープランの策定に関する上位計画を以下に整理する。

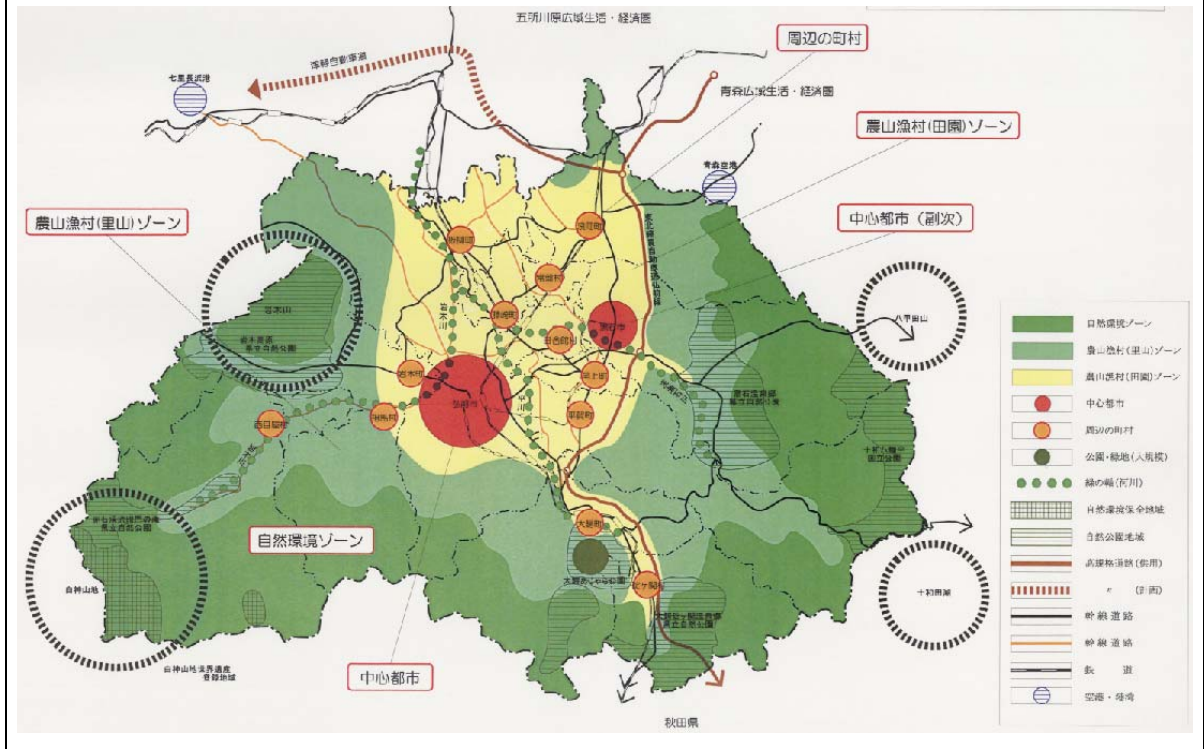
青森県基本計画未来への挑戦 —情熱あふれるふるさと青森づくり—	
策定年月	平成 20 年 12 月
目標年度	平成 25 年度
将来の青森県の姿「生活創造社会」	生活創造社会とは、「生業（なりわい）」に裏打ちされた豊かな「生活」が実現している社会です。 すなわち、県民一人ひとりのチャレンジ精神あふれる取組により経済的基盤の創出・拡大が図られ、輝いて生きられる社会、そして心の豊かさ、命・健康・環境など、暮らしやすさが守られ、安んじて生きられる社会です。
4つの分野ごとのめざす姿	▼県民一人ひとりの自立のための経済的基盤の確立（「生業（なりわい）」づくり）を実現するための「産業・雇用」分野 ▼心の豊かさや命・健康・環境など、暮らしやすさや生活の健全さを守り、発展させていくという「生活」面の充実を実現するための「安全・安心、健康」分野と「環境」分野 ▼「生業（なりわい）」づくりにおいても、豊かな「生活」の実現のためにも、あらゆる分野で根幹をなす人財を育成するための「教育、人づくり」分野
●中南地域における今後5年間の取り組みの展開方向と重点施策	
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>(1) 異業種コラボレーションの促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①光技術産業のハブアップ ②光技術を応用した農業分野、食品加工分野などにおける新産業の創出 ③弘前大学を核とした医療・健康福祉関連産業づくりの推進 <p>(2) 選ばれた地域特産品づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①環境に配慮した循環型農業の推進と安全・安心な農産物の生産体制の確保 ②米やりんごなどの地元産品を生かした機能性食品の開発や食品加工の強化 ③新たなパッケージデザインやICTの活用などによる販売手法の強化 ④りんごの剪定枝など未利用資源の有効活用による新たなものづくり ⑤寒さ、温泉などの地域資源を生かした低コストで安定して生産・供給できる体制づくり <p>(3) 伝統工芸品のめくもり再発見</p> <ul style="list-style-type: none"> ①古き良きものとモダンの融合による新しい価値の創造支援 ②伝統工芸産業を未来へ伝えるビジネスモデルづくり ③子ども達か職人の技・心に継続的に触れることができる仕組みづくり ④職人の創作活動の発表を通じて住民が伝統工芸品を“知る”仕組みづくり <p>(4) 誘客大作戦の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「りんご観光」の創出 ②食、疾病予防、医療サポート、温泉など地域資源を組み合わせた健康増進観光の充実 ③先端技術を有する企業や伝統工芸産業などの見学・体験型の産業観光プログラムの開発・充実 ④白神山や岩木山を始めとする自然を生かしたエコツーリズムの推進 ⑤外国人観光客を視野に入れた受入態勢づくり <p>(5) 企業や人を育てる仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①企業間のネットワークの形成の支援 ②団塊世代の技術や知恵の活用推進 ③女性の活躍の場の拡大 ④産学官金連携による総合的な支援体制の充実 </div>	

青森県都市計画基本計画

(弘前広域生活・経済圏編)

策定年月	平成 15 年 11 月																																				
目標年度	平成 32 年																																				
圏域の将来像	<p>白神山地や岩木山の緑に抱かれたゆとりと賑わいのある田園都市圏の形成</p> <p>① 岩木山などをシンボルとした、緑豊かな田園都市圏</p> <p>② 都市と農山村が連携・共存し、誰もが快適に暮らせる田園都市圏</p> <p>③ 弘前市を中心とした個性豊かで、ゆとりと賑わいのある田園都市圏</p>																																				
圏域の将来予測	<p>●圏域の将来人口 単位:万人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>昭和60年 (1985年)</th> <th>平成2年 (1990年)</th> <th>平成7年 (1995年)</th> <th>平成12年 (2000年)</th> <th>平成17年 (2005年)</th> <th>平成22年 (2010年)</th> <th>平成27年 (2015年)</th> <th>平成32年 (2020年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県人口</td> <td>152.4</td> <td>148.3</td> <td>148.2</td> <td>147.6</td> <td>147.5</td> <td>146.9</td> <td>145.4</td> <td>143.3</td> </tr> <tr> <td>圏域人口</td> <td>35.8</td> <td>35.1</td> <td>35.0</td> <td>34.7</td> <td>34.5</td> <td>34.1</td> <td>33.5</td> <td>32.9</td> </tr> <tr> <td>県人口に 占める割</td> <td>23.5%</td> <td>23.6%</td> <td>23.6%</td> <td>23.5%</td> <td>23.4%</td> <td>23.2%</td> <td>23.1%</td> <td>22.9%</td> </tr> </tbody> </table>		昭和60年 (1985年)	平成2年 (1990年)	平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	平成32年 (2020年)	県人口	152.4	148.3	148.2	147.6	147.5	146.9	145.4	143.3	圏域人口	35.8	35.1	35.0	34.7	34.5	34.1	33.5	32.9	県人口に 占める割	23.5%	23.6%	23.6%	23.5%	23.4%	23.2%	23.1%	22.9%
	昭和60年 (1985年)	平成2年 (1990年)	平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	平成32年 (2020年)																													
県人口	152.4	148.3	148.2	147.6	147.5	146.9	145.4	143.3																													
圏域人口	35.8	35.1	35.0	34.7	34.5	34.1	33.5	32.9																													
県人口に 占める割	23.5%	23.6%	23.6%	23.5%	23.4%	23.2%	23.1%	22.9%																													
黒石市の 位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> ・弘前市をサポートする副次的な中心都市として、商業・業務、生産・流通、医療・福祉などの高次かつ多様な都市機能の充実・強化を図る。 ・農業試験場等の集積を活かした農業技術に関する情報受発信機能や、高速交通網や温泉資源等を活かした広域観光ルート上の滞在拠点機能も担う。 																																				

●弘前広域生活・経済圏の土地利用構成図



黒石市新長期総合プラン													
策定年月	平成 13 年 3 月												
目標年度	平成 22 年度												
キャッチフレーズ	「あずましの里くろいし」												
将来都市像	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民がつくる活力のあるまち ○ 安らぎとぬくもりを育てるまち ○ 豊かな文化と自然を誇るまち 												
<p>基本構想の柱 まちづくりの目標 と施策の大綱</p>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top; padding: 5px;"> <p>1. 歴史が薫るにぎわいと ぬくもりの創出</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 1. 黒石の独自性の発掘 2. 観光・物産の振興 3. まつりの再構築 4. 中心市街地の活性化 5. 交通基盤の整備 6. 情報通信機能の整備 7. 工業の振興 8. 商業・サービス業の振興 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top; padding: 5px;"> <p>2. 新時代を築く活力の ある農業振興</p> </td> <td style="vertical-align: top; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 1. 農業技術の集積の確立 2. 農業の観光活用と消費者交流の推進 3. 農産物のブランド化と産地化 4. 技術を生かした食文化の発信 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top; padding: 5px;"> <p>3. 個性をみがき未来を 担う人づくり</p> </td> <td style="vertical-align: top; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 1. 個性のある地域づくり 2. 文化活動の推進 3. 生涯学習の推進 4. 教育力向上と地域連携・社会教育の充実 5. 情報化に対応した学校教育 6. 交流事業の推進 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top; padding: 5px;"> <p>4. 老いも若きも元気に 参加する地域づくり</p> </td> <td style="vertical-align: top; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 1. 健康づくりの推進 2. 安心して子育てができる環境の整備 3. 高齢者福祉の推進 4. 障害者福祉の充実 5. 男女共同参画社会づくりの推進 6. 居住環境の整備 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top; padding: 5px;"> <p>5. 水資源を基本にした 豊かな環境づくり</p> </td> <td style="vertical-align: top; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 1. 自然豊かな環境づくり 2. 水環境の保全と水辺の創出 3. 資源リサイクルの推進 4. 雪の活用と克服 5. 温泉の多目的利用の推進 6. 安全な市民生活の確保 7. 上水道・下水道の整備 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top; padding: 5px;"> <p>基本構想の推進体制</p> </td> <td style="vertical-align: top; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 1. 行財政改革の推進 2. 広域連携の推進 3. 市民と行政の協働 </td> </tr> </table>	<p>1. 歴史が薫るにぎわいと ぬくもりの創出</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1. 黒石の独自性の発掘 2. 観光・物産の振興 3. まつりの再構築 4. 中心市街地の活性化 5. 交通基盤の整備 6. 情報通信機能の整備 7. 工業の振興 8. 商業・サービス業の振興 	<p>2. 新時代を築く活力の ある農業振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1. 農業技術の集積の確立 2. 農業の観光活用と消費者交流の推進 3. 農産物のブランド化と産地化 4. 技術を生かした食文化の発信 	<p>3. 個性をみがき未来を 担う人づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1. 個性のある地域づくり 2. 文化活動の推進 3. 生涯学習の推進 4. 教育力向上と地域連携・社会教育の充実 5. 情報化に対応した学校教育 6. 交流事業の推進 	<p>4. 老いも若きも元気に 参加する地域づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1. 健康づくりの推進 2. 安心して子育てができる環境の整備 3. 高齢者福祉の推進 4. 障害者福祉の充実 5. 男女共同参画社会づくりの推進 6. 居住環境の整備 	<p>5. 水資源を基本にした 豊かな環境づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1. 自然豊かな環境づくり 2. 水環境の保全と水辺の創出 3. 資源リサイクルの推進 4. 雪の活用と克服 5. 温泉の多目的利用の推進 6. 安全な市民生活の確保 7. 上水道・下水道の整備 	<p>基本構想の推進体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1. 行財政改革の推進 2. 広域連携の推進 3. 市民と行政の協働
<p>1. 歴史が薫るにぎわいと ぬくもりの創出</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1. 黒石の独自性の発掘 2. 観光・物産の振興 3. まつりの再構築 4. 中心市街地の活性化 5. 交通基盤の整備 6. 情報通信機能の整備 7. 工業の振興 8. 商業・サービス業の振興 												
<p>2. 新時代を築く活力の ある農業振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1. 農業技術の集積の確立 2. 農業の観光活用と消費者交流の推進 3. 農産物のブランド化と産地化 4. 技術を生かした食文化の発信 												
<p>3. 個性をみがき未来を 担う人づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1. 個性のある地域づくり 2. 文化活動の推進 3. 生涯学習の推進 4. 教育力向上と地域連携・社会教育の充実 5. 情報化に対応した学校教育 6. 交流事業の推進 												
<p>4. 老いも若きも元気に 参加する地域づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1. 健康づくりの推進 2. 安心して子育てができる環境の整備 3. 高齢者福祉の推進 4. 障害者福祉の充実 5. 男女共同参画社会づくりの推進 6. 居住環境の整備 												
<p>5. 水資源を基本にした 豊かな環境づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1. 自然豊かな環境づくり 2. 水環境の保全と水辺の創出 3. 資源リサイクルの推進 4. 雪の活用と克服 5. 温泉の多目的利用の推進 6. 安全な市民生活の確保 7. 上水道・下水道の整備 												
<p>基本構想の推進体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1. 行財政改革の推進 2. 広域連携の推進 3. 市民と行政の協働 												

黒石市国土利用計画

－ 第 三 次 －

策定年月	平成 13 年 3 月														
目標年度	平成 22 年 （中間目標年次：平成 17 年、基準年次：平成 11 年）														
将来人口・世帯数	人口：およそ 38,500 人 世帯数：およそ 12,100 世帯														
利用区分ごとの 規模の目標		農用地	農地	採草 牧草地	森林	原野	水面・ 河川・ 水路	道路	宅地	住宅地	工業 用地	その他 の宅地	その他	合計	市街地
	平成11年	4,140	4,140	0	14,437	146	701	697	679	457	64	158	896	21,696	430
	平成17年	4,030	4,030	0	14,437	146	698	726	763	475	68	220	896	21,696	518
	平成22年	3,942	3,942	0	14,438	146	698	745	829	484	93	252	898	21,696	564
地域別の概要	<p>【東部地域】 農用地については、優良農地の確保に努めるが、西十和田特定環境保全公共下水道処理施設の整備が進められることなどで、その他への土地利用の転換があり減少する。 森林、原野については、広域基幹林道による転換は見込まれるが、一連の農地造成整備の完了によりその他への土地利用の転換は少ない。 水面・河川・水路については、ダム建設完了により大きな動きはない。 道路については、一般道路の整備によりわずかながら増加する。 宅地、その他については、浅瀬石川ダム周辺の観光開発等によりわずかながら増加する。</p> <p>【中央部地域】 農用地については、市街地の拡大等に伴い、都市的土地利用およびその他への転換により減少する。 道路、宅地については、都市計画街路整備、駅前開発、市街地周辺の市街化が進むことにより、増加する。 その他については生活関連施設の建設などにより増加する。</p> <p>【南部地域】 農用地については、インターチェンジ周辺および国道 102 号バイパス沿いの開発整備などによりかなり減少する。 その他については生活関連施設や農村公園の建設などにより増加する。</p> <p>【北部地域】 農用地については、県農業試験場の移転により大幅に減少する。 道路については、農道等道路網の整備により増加する。 その他については、(仮称) 上十川公民館や生活関連施設・農村公園の建設などにより増加する。</p>														